



参加
無料
(事前申込制)

第121回中国理解講座
現代中国語シリーズ①

中国語の假定複文の 多様な用法

10:00~11:30

立命館孔子学院講義室 (国際平和ミュージアム2階)

講師：長谷川 賢 氏 (立命館大学経済学部准教授)

講演概要：

接続詞「如果」、「要是」などを使う複文は、ふつうは「もし…なら…だ」という「假定—結果」の関係を表す文と学習します。しかし、中国語話者が実際に用いる文を観察すると、必ずしも「假定—結果」の関係を表しているとは思えない文も見られます。この講座では、「如果」、「要是」などの接続詞の使い方を整理したうえで、それらを使う「假定」複文の多様な用法を、日本語の「…たら」「…なら」などの文とも比較しながら観察します。それを通して、本来「假定」を表すために使う文が、ほかにどのような事柄を表すことができるのか、ほかの文との関連性を考えていきます。

6/24
(土)

お申込み・お問合せ先：立命館孔子学院 (立命館大学 国際平和ミュージアム2階)

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学 アカデミア立命21内

TEL : 075-465-8426 FAX : 075-465-8429 Mail : koza@st.ritsumeikan.ac.jp http://www.ritsumeikan.ac.jp/confucius/

